

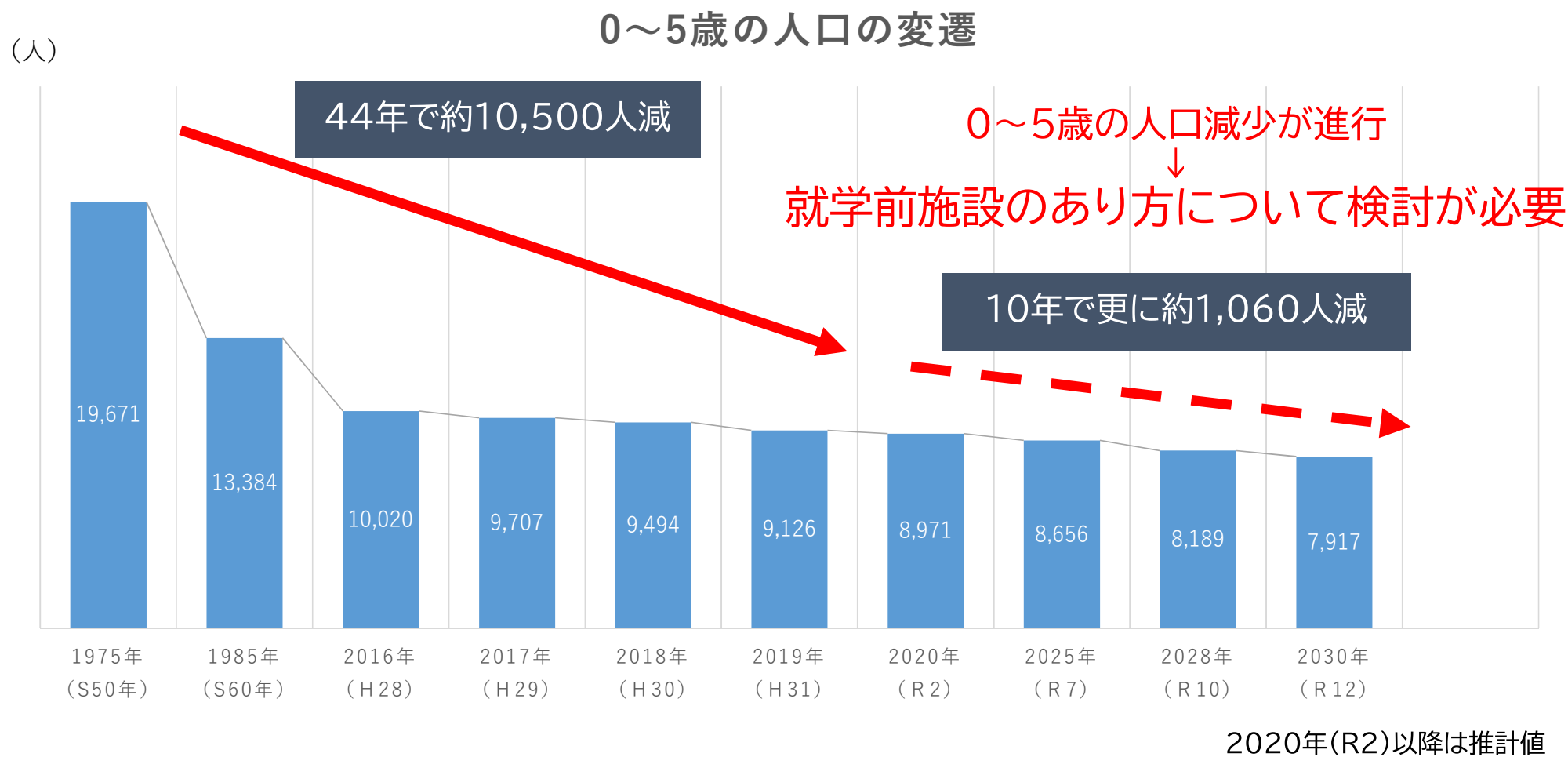
岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針 説明資料

岸和田市・岸和田市教育委員会

2020年(令和2年)1月

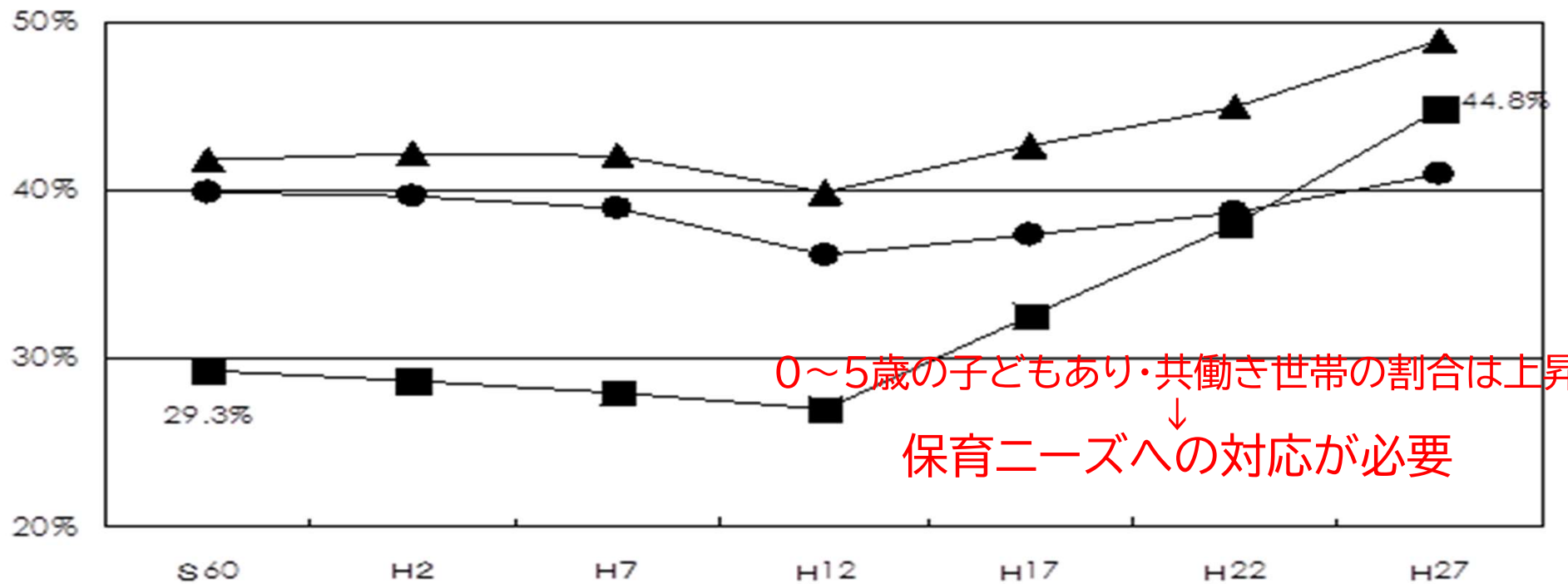
岸和田市の現状と課題

岸和田市の現状と課題【就学前児童数】



岸和田市の現状と課題【共働き世帯の割合】

共働き世帯の割合の推移



資料;国勢調査

- 夫婦のいる一般世帯数に占める夫婦ともに就業者世帯の割合
- ▲ 夫婦のいる一般世帯数(子どもあり)に占める夫婦ともに就業者世帯の割合
- 夫婦のいる一般世帯数(0～5歳の子どもあり)に占める夫婦ともに就業者世帯の割合

岸和田市の現状と課題【市立幼稚園】

	1973年（昭和48年）	2018年（平成30年）
園児数（5歳児） 【a】	2,546 人	425人
幼稚園数 【b】	20園	23園
学級数 【c】	71学級	35学級
1園あたりの5歳児園児 【a/b】	127.3人	18.5人
1園あたりの学級数 【c/b】	3.6学級	1.5学級
1学級あたりの園児数 【a/c】	35.8人	12.1人

園児数(5歳児)はピーク時の6分の1に減少。学級数も2分の1に減少。

↓
1園あたりの園児数・学級数、1学級あたりの園児数もそれぞれ減少

岸和田市の現状と課題【市立幼稚園】

《市立幼稚園の就園状況》

幼稚園名	定員（人）		在園児数（人）		充足率（％）	
	3歳児	4～5歳児	3歳児	4～5歳児	3歳児	4～5歳児
岸城幼稚園	25	95	25	58	100.0%	61.1%
浜幼稚園	－	35	－	13	－	37.1%
朝陽幼稚園	25	65	25	48	100.0%	73.8%
東光幼稚園	－	60	－	27	－	45.0%
大宮幼稚園	25	70	25	45	100.0%	64.3%
旭幼稚園	25	65	25	40	100.0%	61.5%
太田幼稚園	－	60	－	37	－	61.7%
天神山幼稚園	－	35	－	19	－	54.3%
修斉幼稚園	－	35	－	12	－	34.3%
東葛城幼稚園	－	25	－	5	－	20.0%
光明幼稚園	－	90	－	49	－	54.4%
常盤幼稚園	25	95	25	70	100.0%	73.7%
春木幼稚園	－	45	－	32	－	71.1%
大芝幼稚園	25	65	22	46	88.0%	70.8%
城北幼稚園	25	50	20	33	80.0%	66.0%
新条幼稚園	－	60	－	46	－	76.7%
八木北幼稚園	－	60	－	39	－	65.0%
八木幼稚園	25	65	25	29	100.0%	44.6%
八木南幼稚園	25	65	20	46	80.0%	70.8%
山直北幼稚園	25	80	25	63	100.0%	78.8%
城東幼稚園	－	35	－	13	－	37.1%
山直南幼稚園	－	35	－	11	－	31.4%
山滝幼稚園	－	25	－	10	－	40.0%
合計	250	1,315	237	791	94.8%	60.2%

（令和元年5月1日現在）

《園児数（4～5歳児）の規模別施設一覧》

園児数(4・5歳児)	園数	幼稚園名(園児数)
1～10人	2園	東葛城(5)、山滝(10)
11～20人	5園	浜(13)、天神山(19)、修斉(12)、城東(13)、山直南(11)
21～30人	2園	東光(27)、八木(29)
31～40人	5園	旭(40)、太田(37)、春木(32)、城北(33)、八木北(39)
41～50人	6園	朝陽(48)、大芝(46)、大宮(45)、新条(46)、八木南(46)、光明(49)
51～60人	1園	岸城(58)
61～70人	2園	常盤(70)、山直北(63)

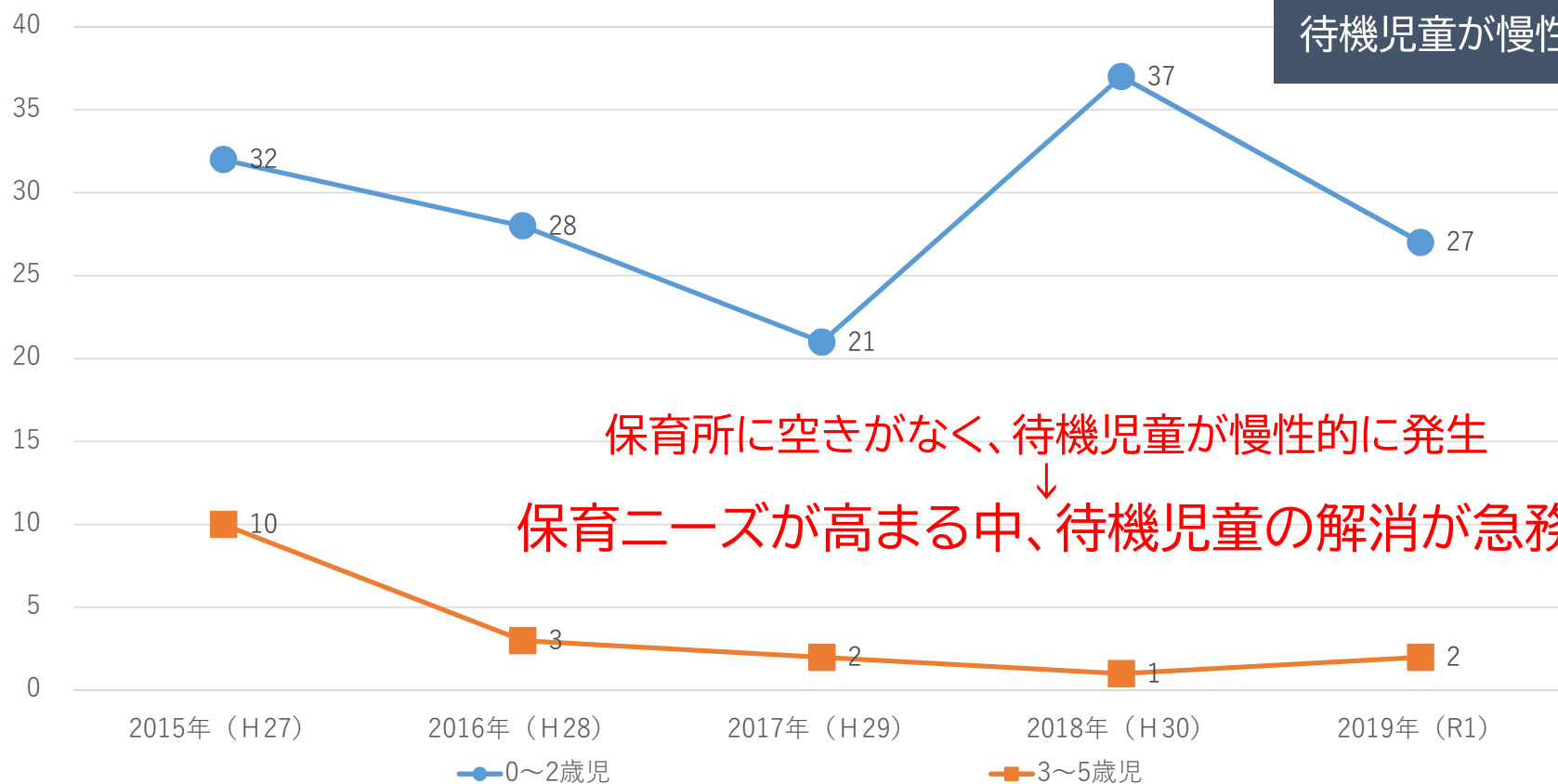
（令和元年5月1日現在）

0～5歳の人口減少が続く中で市立幼稚園のあり方について、検討が必要

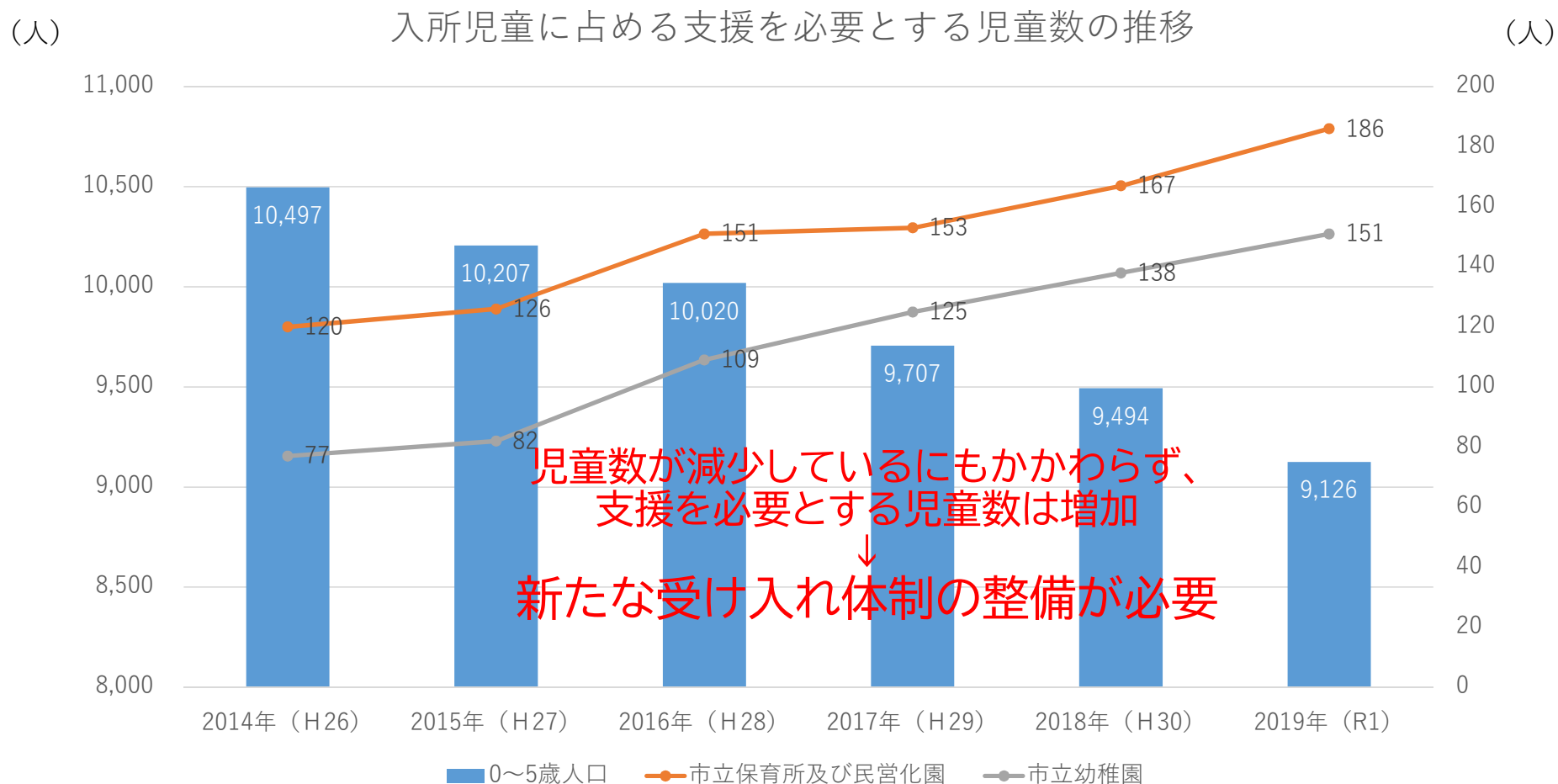
岸和田市の現状と課題【待機児童数】

(人)

待機児童数の推移



岸和田市の現状と課題【支援を必要とする児童】



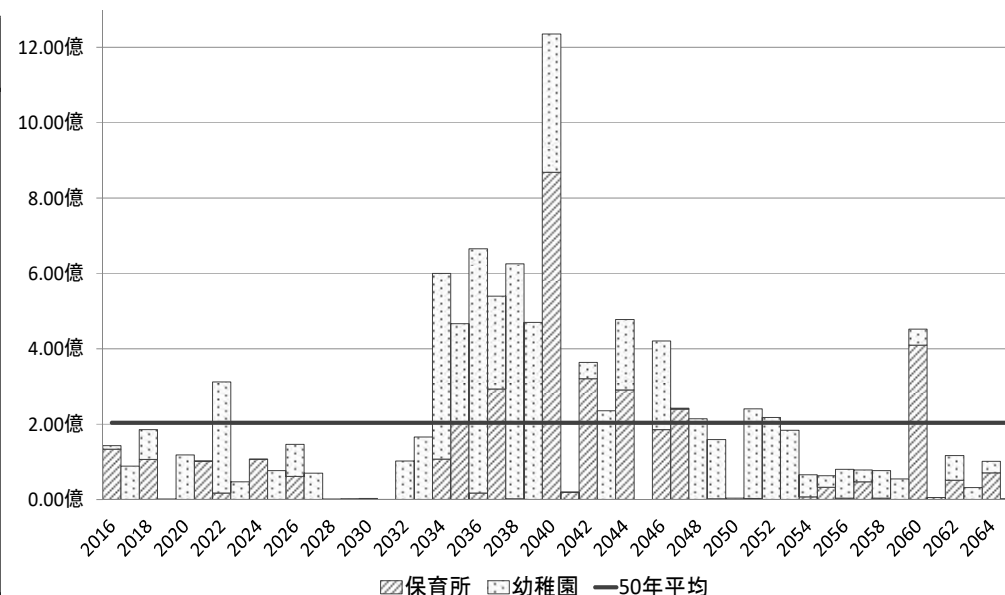
岸和田市の現状と課題【施設の老朽化】

《市立幼稚園及び保育所の築年数》

	築60年以上		築50年～築59年		築40年～築49年		築30年～築39年		築30年未満	
	施設名	建築年	施設名	建築年	施設名	建築年	施設名	建築年	施設名	建築年
幼稚園	浜幼稚園	昭和32年	大宮幼稚園	昭和39年	大芝幼稚園	昭和45年	天神山幼稚園	昭和56年		
			新条幼稚園	昭和41年	東光幼稚園	昭和46年	太田幼稚園	昭和58年		
			旭幼稚園	昭和43年	八木南幼稚園	昭和46年	山滝幼稚園	昭和59年		
			八木幼稚園	昭和43年	城北幼稚園	昭和47年	山直北幼稚園	昭和61年		
			東葛城幼稚園	昭和44年	城東幼稚園	昭和48年	春木幼稚園	昭和62年		
					岸城幼稚園	昭和48年	修斉幼稚園	昭和63年		
					朝陽幼稚園	昭和48年				
					常盤幼稚園	昭和48年				
					山直南幼稚園	昭和49年				
					八木北幼稚園	昭和53年				
					光明幼稚園	昭和54年				
	計	1	5		11		6		0	
保育所	浜保育所	昭和34年			春木保育所	昭和45年	大宮保育所	昭和56年	千喜里保育所	平成7年
					城北保育所	昭和47年			桜台保育所	平成19年
					城内保育所	昭和49年				
					八木北保育所	昭和49年				
					修斉保育所	昭和50年				
					山直北保育所	昭和52年				
					旭保育所	昭和54年				
計	1		0		7		1		2	
合計	2		5		18		7		2	

(平成31年4月1日現在)

《今後50年間の施設更新費等の推計》



施設の老朽化への対応が必要



今後の児童数の減少も見据えた
施設数の見直しが必要

岸和田市の現状と課題【まとめ】

これまで市立幼稚園及び保育所は本市の就学前教育・保育において、大きな役割を果たしてきました。

しかしながら・・・、ライフスタイルの変化等により課題が生じています。

1. 就学前児童の減少
2. 共働き世帯率の上昇
3. 幼稚園児数の減少
4. 保育所での待機児童の発生
5. 支援を必要とする児童の増加
6. 就学前施設の老朽化

- ✓ 課題の先送りは、将来世代に対して、これ以上できません。
- ✓ 岸和田市の将来を考え、市立幼稚園及び保育所を一体的に捉えた検討が必要と考えています。

“子ども・保護者にとって、より良い教育・保育環境の充実を図ること”を
第一の目的に、市立幼稚園及び保育所の再編を実施

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】

1. 市立幼稚園及び保育所を集約し、認定こども園へ再編

- － 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいた教育・保育環境の充実を図ります。
- － 幼稚園における小規模化の解消、待機児童の解消を図ります。



岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】

認定こども園が有する機能

1. 保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設です。
2. 保護者の就労の有無にかかわらず利用できます。
3. 地域における子育て支援機能を有しています。

就学前の教育・保育を一体として捉え、一貫して提供

	幼稚園	保育所	幼保連携型認定こども園
法的性格	学校 (学校教育法)	児童福祉施設 (児童福祉法)	学校かつ児童福祉施設 (認定こども園法)
職員資格	幼稚園教諭	保育士	保育教諭 (幼稚園教諭免許と保育士資格を併有)
利用児童 1号認定 (3～5歳児) 2号認定 (3～5歳児・要保育) 3号認定 (0～2歳児・要保育)	1号認定	2・3号認定	1・2・3号認定 <u>満3歳児以上の保護者で仕事を辞める等就労状況が変わった場合でも転園の必要はありません(認定こども園区分変更のみ)。</u>
要領・指針	幼稚園教育要領	保育所保育指針	幼保連携型認定こども園教育・保育要領
給 食	提供義務なし	提供が前提	1号 : 幼稚園と同じ。 <u>給食は利用可能。</u> 2・3号 : 保育所と同じ。
開園日 (標準的な時間)	1日につき4時間	1日につき11時間	1号 : 幼稚園と同じ。 <u>延長(預かり)保育利用可能。長期休日は施設により通園可能。</u> 2・3号 : 保育所と同じ。
閉園日	土日祝・年末年始。 長期休日。	日祝・年末年始。	

認定こども園とは【1日の流れ(イメージ)】

時刻/区分	3号認定（0～2歳児）	1・2号認定（3～5歳児）	
		1号認定（幼稚園）	2号認定（保育）
7：00	開園　　順次登園		開園　　順次登園
8：30	自由遊び	登　園	自由遊び
9：00	朝のおやつ	教育活動（集団活動など一緒に行います）	
10：00	散歩・屋内（外）遊び		
11：00	給　食		
11：30			
12：00	お昼寝	給　食	
13：00			
14：00			
15：00	お昼のおやつ	お昼のおやつ	
16：00	自由遊び	自由遊び	
17：00	順次降園	順次降園	
19：00	閉　園	閉　園	

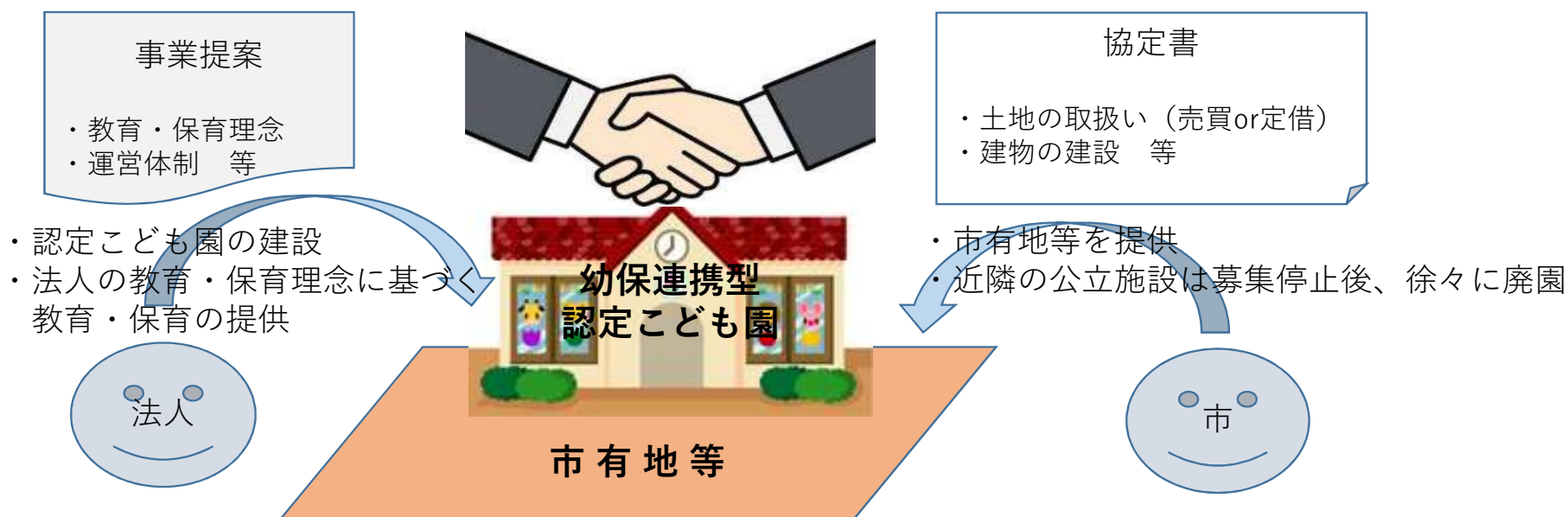
※実際には園により異なります。 14

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】

2. 民間事業者の積極的な導入

- － 認定こども園化にあたっては、民間事業者（社会福祉法人、学校法人）の積極的な参入を図ります。
- － 民間ならではの自由な発想・特色ある教育・保育の提供を図ります。

《民間事業者の導入（公募型事業提案方式）イメージ図》



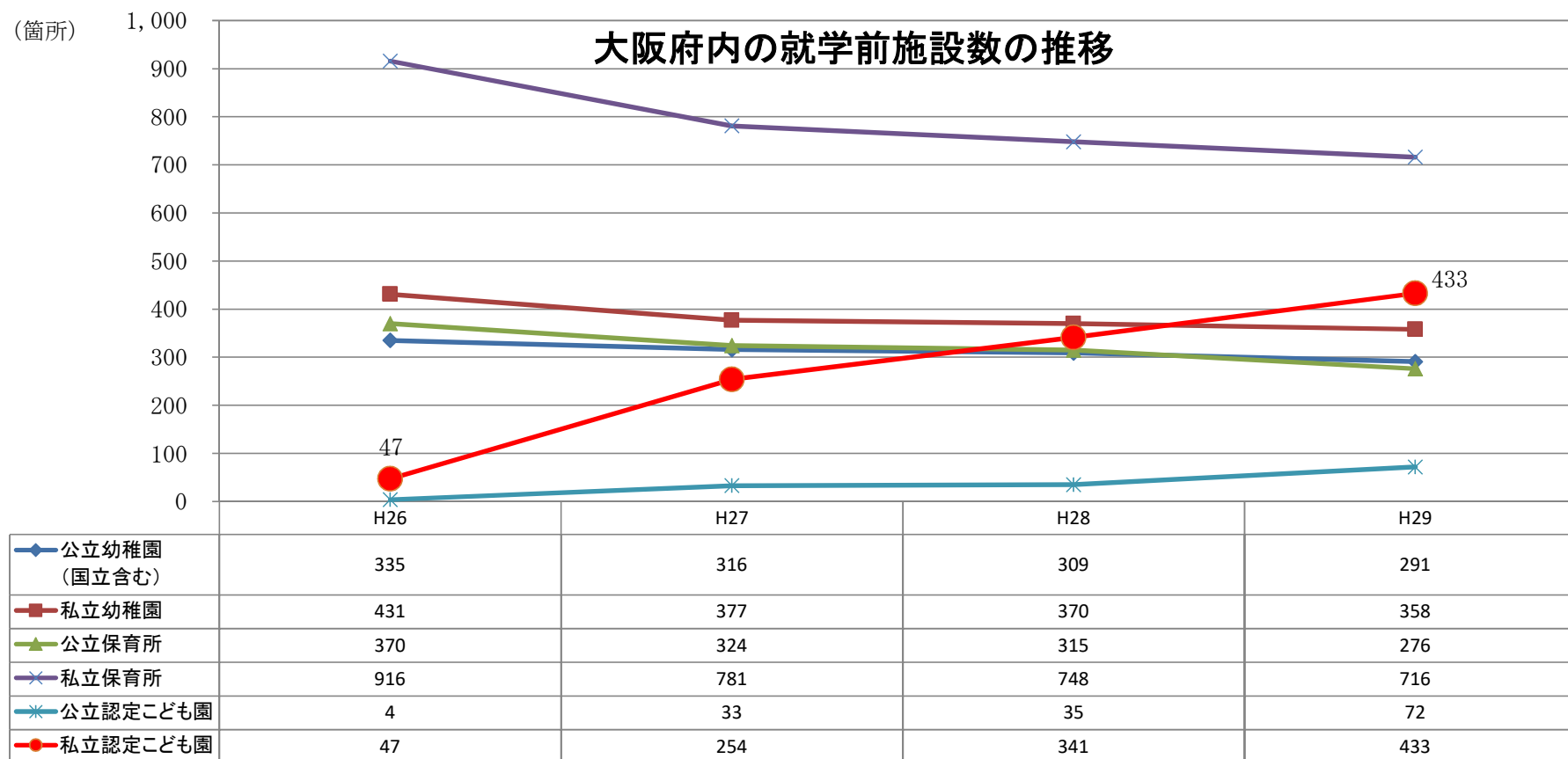
岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】

民間事業者の導入にあたっては、

公募型事業提案方式(プロポーザル方式)を検討しています。

- 市有地等を活用して、社会福祉法人又は学校法人が幼保連携型認定こども園を新たに設置・運営する方式です（新たに入園を希望する園児を募集します）。
- 法人からの事業提案（教育・保育理念、運営体制等）に基づき、法人の選定を行います。
- 選定により実施法人が決定後、市と協議の上、協定書を締結後、事業着手となります。
- 近隣の市立施設（市立幼稚園・保育所）は募集停止等の措置を行い、徐々に廃園します。なお在園児は卒園まで市立施設をご利用できます（転園措置はない）。
- 法人の教育・保育理念に基づいた教育・保育を提供していただきます。

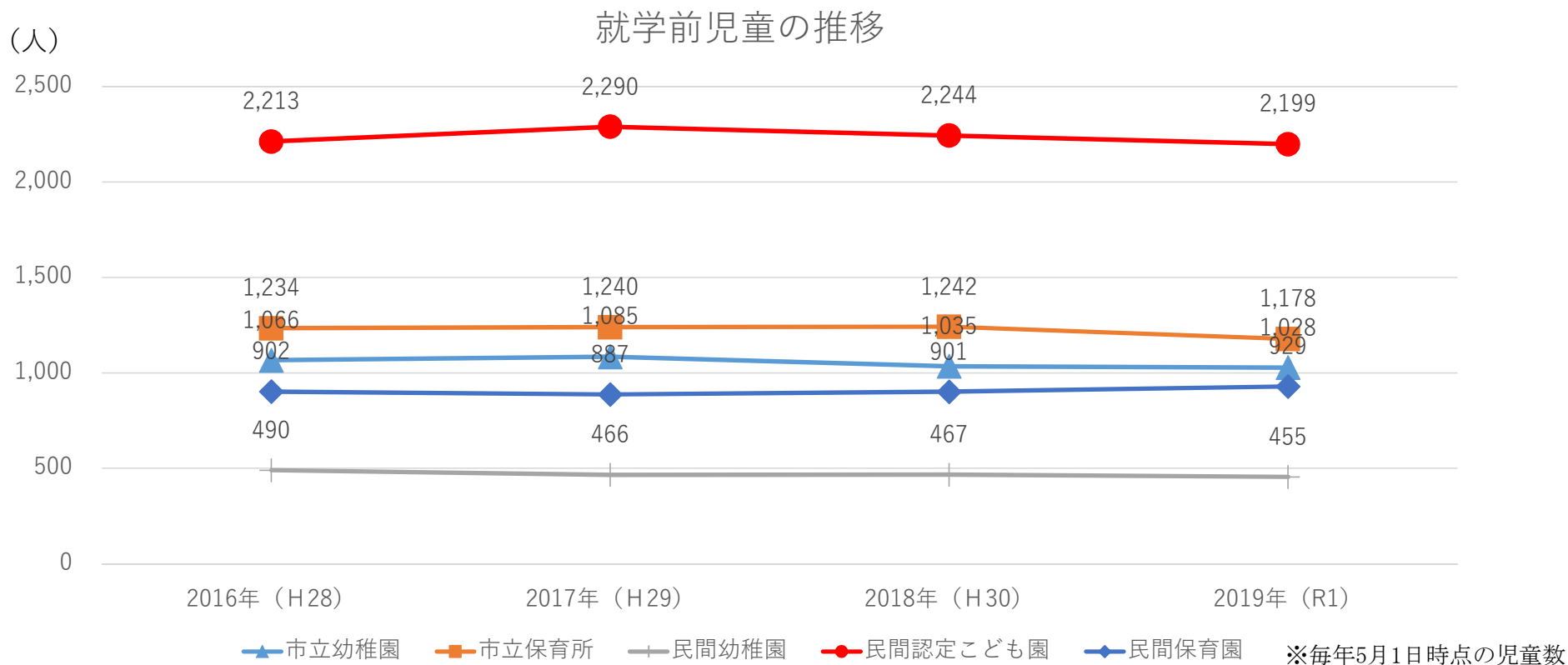
岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】



資料：学校基本調査、福祉行政報告例、内閣府ホームページ

- ✓ 大阪府内では、私立認定こども園が増えています。
- ✓ 本市でも既に17の私立認定こども園が運営されています。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】



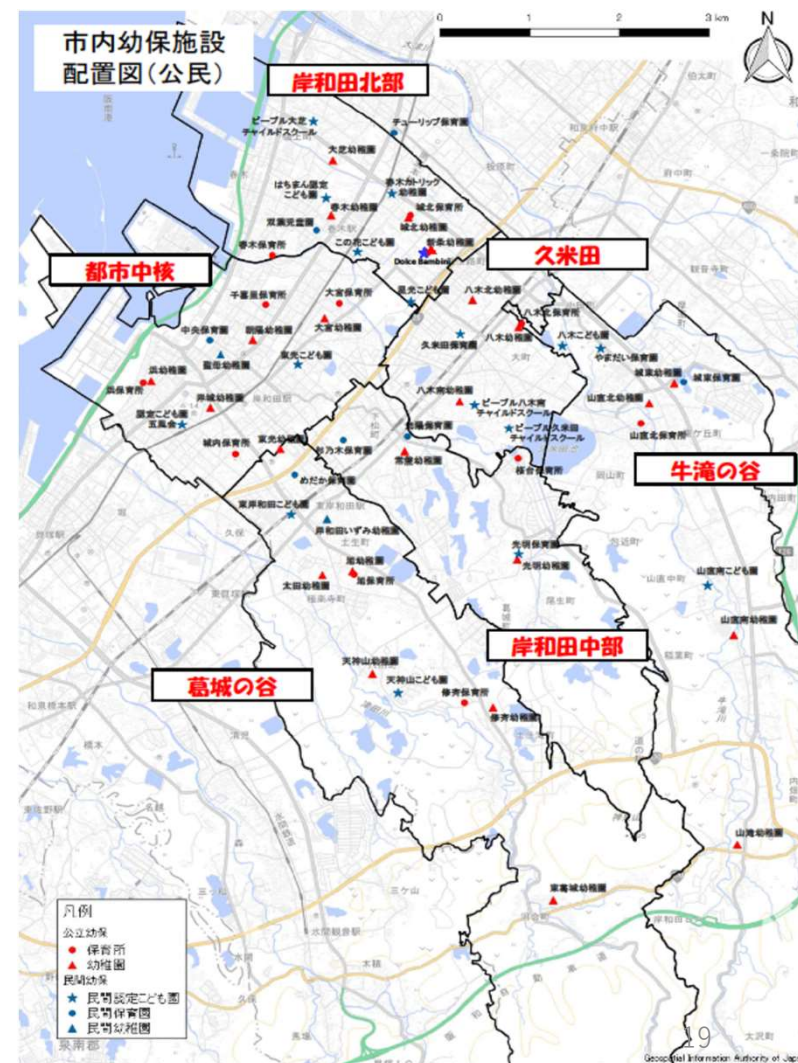
✓ 本市でも約2,200人の児童が民間認定こども園に通っています。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】

3. “地域(3次生活圏)”を単位に再編

- 地域特性等を踏まえ、“地域(3次生活圏)”を基本的な単位として、それぞれの状況に応じた再編を行います。
- 定員を大幅に下回っている施設は、施設の統合等も検討します。

- 地域特性・既存の就学前施設(市立・民間を問わず)を考慮して、状況に応じ、柔軟に対応したいと考えています。
- 市立施設34施設(幼稚園23施設、保育所11施設)を、6施設に再編するものではありません。
- 新設される園の規模は、1園あたり100～200人の定員規模を想定(市内認定こども園と同規模)。



岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】

4. 民間園との連携・協力体制を強化

- － 新たな補助金制度(障害児の受入れ等)の創設、市と民間園による共同研修会を開催します。
- － 市と民間園との連携・協力体制を強化し、教育・保育環境の充実を図ります。

例①、支援を必要とする児童の保育環境の充実

《現在》 支援を必要とする児童数は、年々増加しており、新たな受け入れ体制の整備が求められている。



《今後》 更なる受け皿の拡大を図ることで、子ども・保護者の選択肢が広がります。

例②、小学校との連携・交流

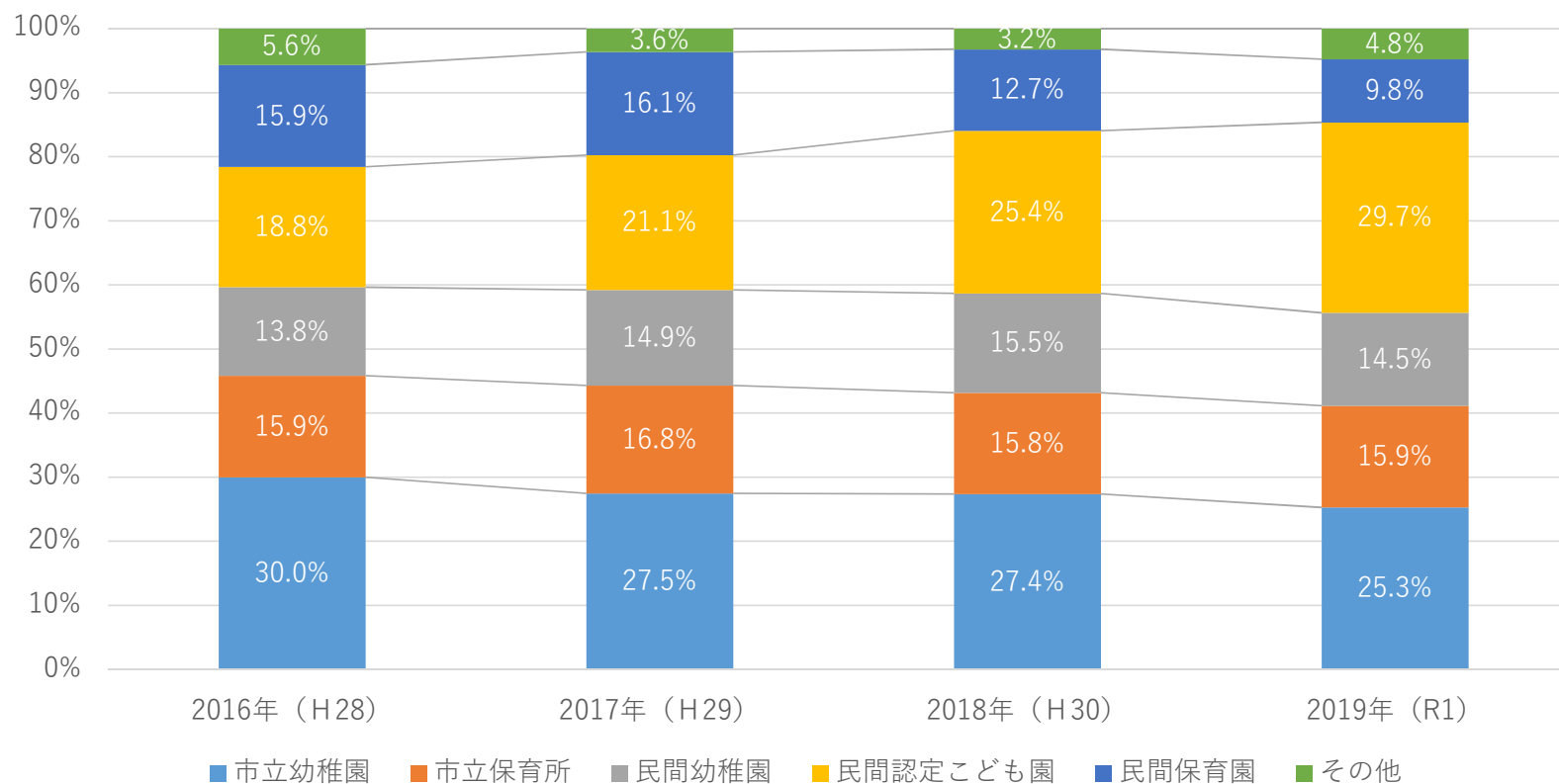
《現在》 小学校と併設する市立幼稚園では、小学校との連携・交流が積極的に行われている。



《今後》 市立幼稚園に通う園児だけでなく、就学前児童全体への取組みとするべく、連携できる仕組みづくりや実践交流、研修の仕組み等の体制づくりを市として支援します。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【再編の考え方】

小学校入学時の就学前施設別児童の割合



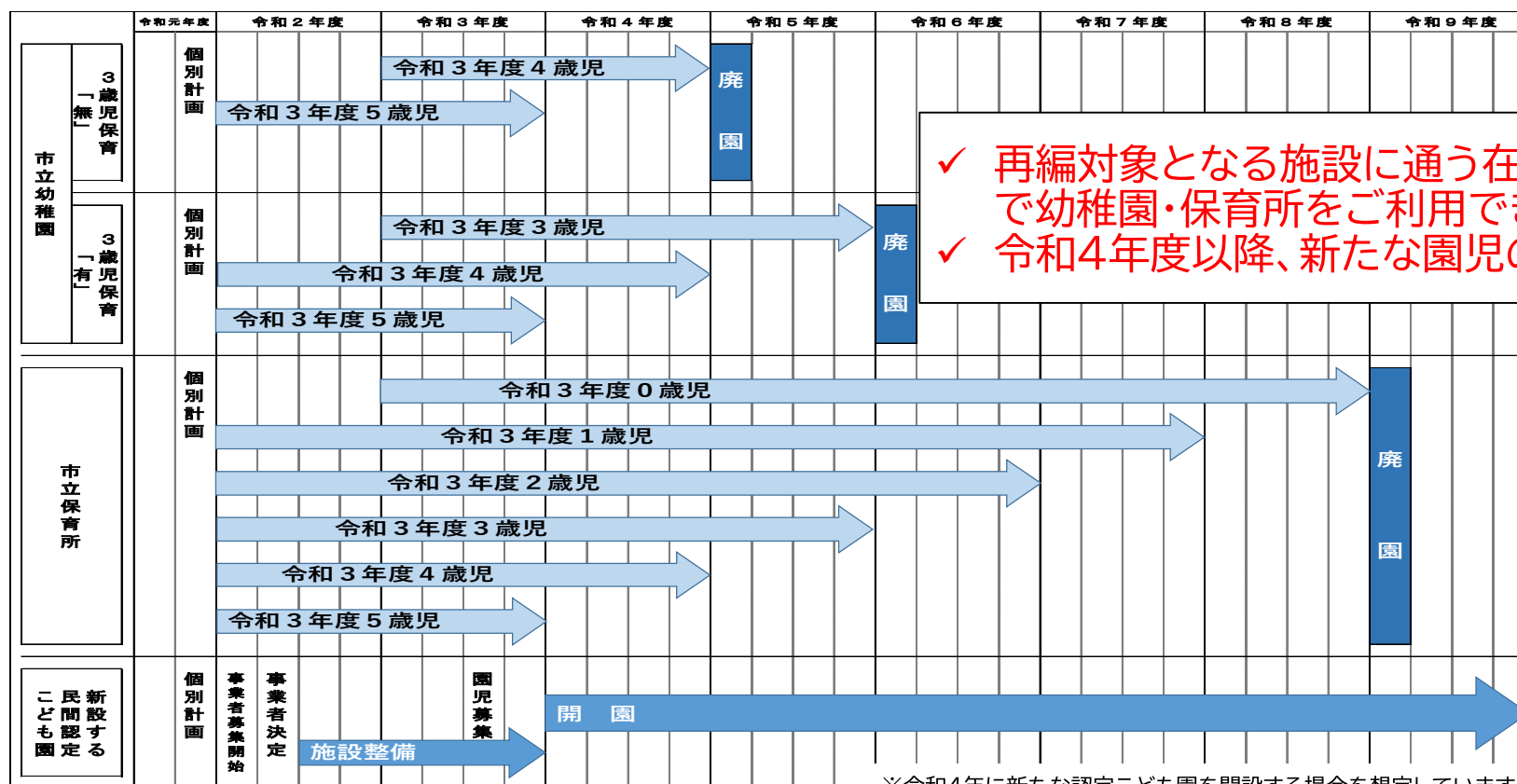
✓ 民間園出身の児童の割合が増えてきています。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【今後の進め方】

1. 子ども・保護者等への配慮

- 再編対象となる施設については、在園児が卒園するまでは存続します(卒園後、廃園します)。

市立幼稚園及び保育所の再編に伴う在園児童の取扱いのイメージ



- ✓ 再編対象となる施設に通う在園児の方は、卒園まで幼稚園・保育所をご利用できます(転園は不要)。
- ✓ 令和4年度以降、新たな園児の募集を停止します。

※令和4年に新たな認定こども園を開設する場合を想定しています。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【今後の進め方】

2. 「市立幼稚園及び保育所再編個別計画」の策定・公表

- － 集約となる対象施設、集約方法、実施時期等については、個別計画を策定し、公表します。
- － 子ども・保護者・民間園等に与える影響を考慮し、原則として実施予定の前々年度までに、その都度公表します。

3. 方針等の見直し

- － 児童数、保護者の就労率、民間園の設置状況といった大規模な変化、本方針に大きく影響を及ぼす施策の変更等があった場合、必要に応じ見直します。

全ての市立幼稚園及び保育所が、短期間で直ぐに廃園になるということではありません。

- ✓ 市立施設につきましては、当面、民間園と共存を図っていく対応を考えています。
- ✓ 社会情勢の変化への対応をはじめ、今後進めることとなる認定こども園化及び民間活力の導入状況の効果検証を行いながら、引き続きそのあり方について検討してまいります。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【スケジュール(予定)】

時 期	事 項
2019 (R1) .12	✓ 再編方針を市議会で報告
2020 (R2) . 1	✓ 再編方針について、市民説明会を開催
2020 (R2) . 3	✓ 個別計画（再編施設を記した計画）、関連議案（条例・予算）を市議会に提出 ✓ 個別計画について再編対象となる園の保護者説明会を開催
2020 (R2) . 4～ 6	✓ 募集要項の配布・法人の募集
2020 (R2) . 7	✓ 法人の選定・決定 ✓ 市と協定締結に向け協議・協定の締結（～2020.9）
2020 (R2) .10 ～2022 (R4) . 3	✓ 建設工事 ✓ 開設に向けた準備（園児募集、認定こども園認可申請）
2022 (R4) . 4	✓ 認定こども園を開設（予定）

目標:先ずは各圏域に一つの認定こども園を開設したいと考えています。

- ✓ 開設後、再編の効果検証(園児の動向、保育ニーズの充足度、第三者評価等)を行います。
- ✓ 検証の結果、(その時点での)児童数、待機児童数、民間園の状況等を踏まえ、今後の進め方、市立施設のあり方を検討していきます。